



基幹業務ソフトを『PCAクラウド』で統一し、  
大幅な業務の効率化に成功。  
働きやすいホワイト企業の環境を、  
さらに向上させた導入効果とは。

## アイシス株式会社

『PCAクラウド』によって業務を様変わりさせたのがアイシス株式会社だ。勤怠管理・給与計算・販売管理・財務会計などの基幹業務をPCAと連携ソリューションで統一。月額変更届・算定基礎届も電子での申請に。以前から、社員の働きやすい環境整備に力を入れてきた同社だが、『PCAクラウド』の導入によって、さらにストレスの少ない環境づくりに成功したと語る。その導入成果を伺った。

### 導入システム

#### ○PCAクラウド (3CAL)

- ・PCAクラウド 会計
- ・PCAクラウド 給与
- ・PCAクラウド 商魂
- ・PCAクラウド 商管
- ・PCAクラウド 人事管理

#### ○クロノスPerformanceクラウド ※1

#### ○X'sion ※2

### 導入の狙い

- ・基幹業務ソフトのメーカーが違うことによって発生する入力作業にかかる時間と工程を減らしたい。
- ・客先常駐している社員の勤怠管理にかかる時間や手間を減らし、ミスの不安も解消したい。
- ・管理部の社員がテレワークでもスムーズに基幹業務を遂行できる環境にしたい。

### 導入効果

- ・業務ソフトを『PCAクラウド』で統一。ソフト同士の連携によって時間も工程も大幅に軽減できた。
- ・『PCAクラウド 給与』と『クロノスPerformanceクラウド』の連携によって正確な勤務時間を把握。脱Excelで集計ミスの不安も解消できた。
- ・『PCAクラウド』によってテレワークでも遜色なしに基幹業務を遂行できる環境に。『PCAクラウド 給与』の機能を使って自宅から算定基礎届や月額変更届などの電子申請も可能になった。
- ・『PCAクラウド 商魂』『PCAクラウド 商管』『PCAクラウド 会計』の連携で、決算処理の精査も前年に比べ約10日間短縮することができた。

### プロフィール

#### アイシス株式会社

- 住所: 〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-1-1
- 設立: 1988年9月13日
- 資本金: 2,000万円
- 従業員数: 24名
- 業務内容: 業務系パッケージソフトウェア導入・指導・サポート  
コンピュータシステムの開発・技術支援
- URL: <http://www.isis.co.jp/>



### 夢をかなえる 未来へ

#### "ISIS"とは?

社名の「isis」とは、「上へ上へ」という意味を持つ音楽用語「ダブルシャープ」をドイツ語音名にしたものです。ピアノの教師であった創業者が、会社もそうであって欲しいという願いを込めて名づけられました。

※1: ※2:『クロノスPerformanceクラウド』『X'sion』は、クロノス株式会社の製品です。



アイシス株式会社  
代表取締役  
高木 紗綾香 氏



アイシス株式会社  
経営管理部 部長  
島崎 恵利子 氏

## 導入前の運用と課題

### ○エンジニアは客先に常駐。勤怠管理・給与など基幹業務をスムーズに行う方法は？

アイシス株式会社は導入支援などのシステムサポートや、業務アプリケーション開発などを中心に事業を展開している。同社のユーザーは約7000社以上にものぼり、わかりやすく丁寧な導入支援や、システム開発に携わるエンジニアの質の高さが評価されてきた。同時に社員の働きやすい環境づくりや、ライフイベントによってキャリアを途中であきらめなくてもよい体制をいち早く整えてきたホワイト企業でもある。

同社は以前、勤怠管理や給与、販売管理、会計などの基幹業務をそれぞれ別のメーカーのソフトで処理していた。これには同社の事業が影響している。

「当社は導入支援を専門的に行っており、社員がさまざまなソフトに触れ、その特徴や操作性を学ぶという方針がありました」(代表取締役 高木 紗綾香氏)

「一方でメーカーが違うためデータ連携ができないことから入力作業が度々発生し、時間もかかりケアレスミス不安も抱えた状況でした」(経営管理部 部長 島崎恵利子氏)

同社はシステム開発も行っており、エンジニアが客先に常駐して仕事を行うケースがある。以前、もっとも手間がかかっていたのがこのケースの勤怠管理だった。

「約20名の社員がお客様先で開発業務を行うのですが、お客様それぞれに勤怠管理のフォーマットや締め日が異なります。締め日になるとフォーマットを私に提出してもらい、そのデータを社内のフォーマットにまた打ち込んでいました。エンジニアが社内にはいないため不明点はメールで確認することになり、その返事を待つのに時間も必要でした。そのため勤怠時間の集計のために、以前は5日間ほど時間を見ていました」(島崎氏)

「会計については私と島崎さんの2名体制で行っていましたが、販売管理ソフトで集計した売上をまた1件1件会計ソフトに入力していました。やはり勤怠管理・給与・販売管理・会計を連携さ

せることで、ボタン一つで自動的に他のソフトにも連携できる運用がよいだろうと、業務システムを見直すことにしました」(高木氏)

## 選定のポイント

### ○世の中のDX推進に対応できるのが『PCAクラウド』と関連ソリューション

基幹業務を見直すうえで、まず注目したのがクラウドだった。「システムの統合化を図るとともに、作業効率や働き方改革も推進でき、データの安全性が守られることが重要でした。また世の中のDX推進の流れを鑑みると、やはり『PCAクラウド』の導入メリットが大きいだろうと考えました」(高木氏)

大きな懸念材料だった勤怠管理については、分単位の細かな集計ができ、管理する側としては脱Excel管理ができることも重要だった。そこで最初は『クロノスPerformanceクラウド』を導入し就業管理を行い、その後は経営管理部での手入力を完全に省略できるよう『X'sion(クロッシオン)』を導入している。

## 導入のメリット

### ○『PCAクラウド 給与』の機能を積極的に業務に取り入れる

現在、当社は、勤怠管理・給与について次のような運用を行っている。常駐先のエンジニアやテレワークの社員はスマホやPCから『X'sion』に打刻。そのデータが自動的に『クロノスPerformanceクラウド』に連携される。『クロノスPerformanceクラウド』で集計された勤怠情報は、『PCAクラウド 給与』に連携できるため、以前のように経営管理部が勤怠時間を1件1件入力していく必要はない。

「正確な打刻時間や位置情報の取得もできます。また『X'sion』のワークフロー機能を使うことで、残業届の提出などの失念もなくなりました。『PCAクラウド』によって代表の高木も勤怠・給与データを迅速に確認・承認できるようになっています」(島崎氏)

同社は算定基礎届や月額変更届の電子申請も  
行っている。『PCAクラウド 給与』はe-Gov/マイ  
ナポータルを利用した電子申請に対応して  
おり、クリック一つで直接送信できる。データの持  
ち運びが不要なため紛失の心配はなく、直接役  
所に向く必要もない。

「導入後に初めて電子申請を行ったのですが、  
本当に楽になったと実感しました。算定基礎届  
や月額変更届も『PCAクラウド 給与』から電子  
申請を行っています」(高木氏)

また、利用している銀行のネットバンキングシ  
ステムが新しくなり『PCAクラウド 給与』の給与  
振込データを取込みできるようになったので、  
この機能を使用することにした。『PCAクラウド  
給与』で作成した振込データをネットバンキング  
システムに取り込むと、あとは指定した日に社員  
の銀行口座に自動的に振り込まれる。以前は社員  
名・銀行口座・金額を慎重に確認してネットバ  
ンキングシステムに打ち込む作業に3時間を見  
ていたが、今はその時間も労力も必要ない。

## ○決算の精査を約10日も早く終了。 『PCA会計』を経営戦略にも応用

『PCAクラウド 商魂』『PCAクラウド 商管』と  
『PCAクラウド 会計』との連携も業務時間短縮  
に役立っている。以前は売上データを会計に手  
入力するのに丸1日時間が必要だった。しかし仕  
訳の連携により、売上データをボタン一つで連  
携させることができるようになった。決算作業に  
おいては、連携していることで数字の正確さが  
確保できていることもあり、以前と比べて約10  
日も早く精査を終わらすことができたという。

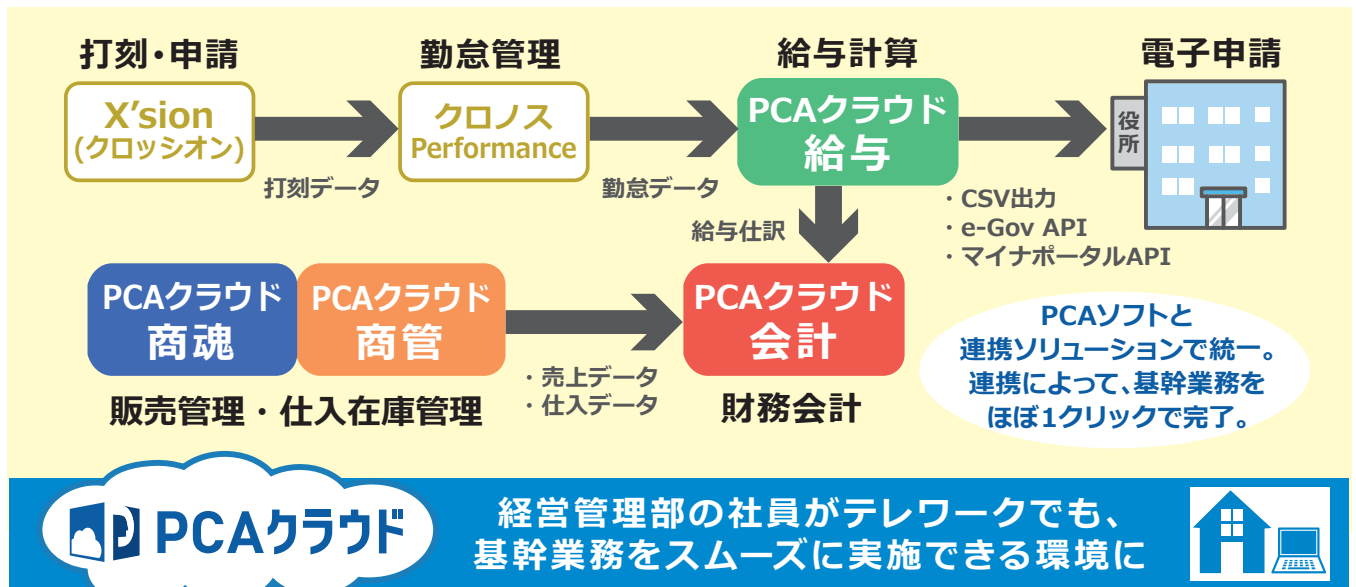
これまで仕訳の手入力に使っていた時間が大  
幅に短縮されたことで生まれた時間は、『PCAク  
ラウド 会計』の集計機能を利用した数字の分析  
に回すことができるようになった。

「部門配賦機能を使うことで、部門別一覧表で  
月次の部門ごとの売上や利益も確認でき、経営  
戦略にも役立っています」(高木氏)



PCA認定インストラクションパート  
ナーの認定盾

### システム概況図



PCAクラウド

経営管理部の社員がテレワークでも、  
基幹業務をスムーズに実施できる環境に



**PAST** → **NOW**  
65%  
ペーパーレス化により、  
用紙購入費を65%削減

**-10日**  
決算業務の精査は、  
約10日間早く終了

コロナ禍の収束後も、  
テレワークは働き方の  
選択肢として継続

より一層、社員  
が働きやすさと  
働きがいの、双  
方を実現できる  
環境になった。



アイシス株式会社  
サポート部 部長  
小島 智紀 氏



アイシス株式会社 HP  
<http://www.isis.co.jp/>

## ○『PCAクラウド』でテレワークと大幅なペーパーレス化に成功

同社の大幅な業務の効率化を端的に表す数字がある。『PCAクラウド』導入前後を比べると、前年度比でコピー用紙の消費費用が65%も減少している。費用の節約にとどまらず、ペーパーレス化によって印刷やファイリングといった手間が削減できた点もメリットに挙げられる。

そして基幹業務をテレワークで遂行できた点も大きな導入メリットといえるだろう。

「『PCAクラウド』でさまざまなデータを在宅・社内・出先など場所を問わずに社員が確認できるようになりました。手元に紙の資料がなくても同じ数字を見てスムーズにミーティングができることが分かりました。ミーティングの質も向上したと思います」(高木氏)

同社が『PCAクラウド』を導入したのはコロナ禍が始まる前の2019年10月。当時は時差出勤の促進のためテレワークを徐々に実施していた。しかしその後、緊急事態宣言下で政府から出社率を下げるのが求められるようになったとき、前もって『PCAクラウド』を導入しておいたことが功を奏した。

なお、同社は今後もテレワークは働き方の一つの選択肢として継続し、それぞれの社員が適切な働き方を選べるようにしている。

## ○社内にPCA認定インストラクターがいる強み

業務のあり方を大きく変えた同社だが、その成功の裏には、サポート部 部長 小島智紀氏をはじめとするPCAソフトを熟知する社員の存在が大きい。操作で不明点があれば、社内のPCA認定インストラクターにいつでも聞くことができた高木氏・島崎氏は語る。PCA製品をよく知る小島氏はその特徴を次のように語る。

「どのメーカーのソフトもそれぞれに良さがありますが、PCAの場合は総じて検索性に優れており、スペックが充実しています。そのため大き

な企業はもちろん、中小企業も自社に合った使い方をを見つけることができます。充実した機能の中から必要な機能をチョイスして、大きな導入効果を実感できる使い方ができると思います」(小島氏)

PCAでは同社のように導入支援をサポートするパートナーが全国にあり、導入企業それぞれに適切なサポートを行っている。自社にフィットした使い方をを見つけることで、同社のように業務を大きく効率化させることが可能だ。

## 今後の課題と展望

今回の『PCAクラウド』導入で、業務の負荷を体感的には以前の50%にまで下げられたと語る同社。「家でも会社でも、自分のタイミングですぐに開いて仕事ができる」ためストレスも減らせたそうだ。実際に業務の負荷が下がったことで、安心して休暇を取りやすくなったとも語る。

「少し前までは、総務・経理などの管理職はテレワークは不可能だという考えが一般的でした。しかし『PCAクラウド』によって当社は可能になりました。女性が働きやすい環境を実現することで、男性も働きやすい職場ができます。当社も代表は女性で、家族に料理をふるまう時間も持っています。今後も多くの企業のシステムをサポートすることで、楽しく仕事ができる人を増やすことに貢献していきたいです」(高木氏・島崎氏・小島氏)